

記入例

※記載のイメージであり、望ましい経営像や数値等の整合性を持って例示したものではありません。

認定申請日

農業経営改善計画認定申請書

令和 〇年 ※ 月 ※ 日

○	東海村長 殿
	茨城県知事 殿
	関東農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	那珂郡東海村石神内宿1167-9		連絡先	090-****-****
	フリガナ	イモバタケ ホウサク		フリガナ	法人のみ記載
	個人・法人名	芋畑 豊作 (芋畑印)		代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・法人設立年月日	昭和〇〇年〇月〇日		法人番号	

複数の市町村で農業経営を行う場合には、県知事等に申請

55年法律第65号)第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画							
①農業経営体の営農活動の現状及び目標		該当する営農類型1つにチェックしてください。 ※農産物販売金額1位の部門(作目)が総額の80%以上→「単一経営」の該当する部門1つにチェック ※農産物販売金額1位の部門(作目)が総額の80%未満→「複合経営」にチェック					
(1) 営農類型							
現 状				目標 (RO+5年)			
☐ 稲作 ☐ 麦類作 ☒ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 複合経営 ☐ 酪農 ☐ 肉用牛 ☐ 養豚 ☐ 養鶏 ☐ 養蚕 ☐ その他の畜産 ()				☐ 稲作 ☐ 麦類作 ☒ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 複合経営 ☐ 酪農 ☐ 肉用牛 ☐ 養豚 ☐ 養鶏 ☐ 養蚕 ☐ その他の畜産 ()			
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標q		東海村の「農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」では、効率的かつ安定的な農業経営の目標として、年間農業所得 530万円程度、労働時間2,000時間程度としています。					
	現状	目標 (RO+5年)		現状	目標 (RO+5年)	主たる従事者の人数	〇人
年間所得	〇万円	〇〇万円	年間労働時間	〇〇時間	〇〇時間		
主たる従事者1人当たりの年間所得	△万円	△△万円	主たる従事者1人当たりの年間労働時間	△時間	△時間		

②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

[illegible]

農業経営に関連・附帯する事業として、以下の内容を記載して下さい。

- ・農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工
- ・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売
- ・農業生産に必要な資材の製造
- ・作業受託（※特定作業受託は含みません。）
- ・農泊、農業体験事業

【記載例】

- ・農畜産物の加工
- ・小売業（直売所）
- ・観光農園、貸農園、体験農園、農家民宿、農家レストラン
- ・作業受託（※特定作業受託は含みません）
- ・その他

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (RO+5年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					現 状		目 標 (RO+5年)			
							棟	m ²	棟	m ²		
所有地	茨城県	東海村	畑	○	○○	加工場	茨城県	東海村	○	○○	○	○○
	茨城県	東海村	畑	○	○○	倉庫	茨城県	東海村	○	○○	○	○○
借入地	茨城県	東海村	畑	○	○○							
	茨城県	東海村	畑	○	○○							
経 営 面 積 合 計				○○	○○○	経 営 面 積 合 計			○	○○○	○○	○○○
③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
例) ＜現状＞ ・ほ場の分散により非効率。 ＜目標・措置＞ ・農地中間管理機構を利用した規模拡大及び農地の集約化。 農用地の利用条件（ほ場の区画の大きさ、団地化）、作目・部門別合理化の方向、その他の生産方式の合理化等について、例示を参考に、現状・目標・その掲げた目標を達成するための具体的な方策目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可） 【例示】 ・農地の集積・集約化 ・農業生産工程管理（GAP）の導入 ・生産の効率化・高度化スマート農業の推進 ・栽培・飼養に関する新技術の導入 ・自給飼料の生産・利用の拡大 ・持続性の高い農業生産方式 ・省エネ技術を利用した生産管理の推進 ・有機農業の推進 ・その他合理性の方向						例) ＜現状＞ ・委託による青色申告。 ＜目標・措置＞ ・複式簿記取得による青色申告。 ・将来的には法人化を目指す。 簿記記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化等経営の合理化の方向について、例示を参考に、例示を参考に、現状・目標・その掲げた目標を達成するための具体的な方策目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可） 【例示】 ・簿記記帳等の会計処理 ・経営内役割分担 ・経営の法人化 ・高付加価値化・ブランド化 ・新たな販路拡大や新製品の創造 ・マーケティング力の強化 ・顧客に対する情報発信 ・農業生産工程管理（GAP）の導入 ・その他合理性の方向						

⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置

例)

＜現状＞

- ・不定休で特に休日設けていない。
- ・後継者が育成できていない。

＜目標・措置＞

- ・休日制度の導入。
- ・家族間での相続・経営継承に向けた整備。

人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営継承に関する取組等について、例示を参考に、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可）

【例示】

- ・人材確保に向けた就業規則等の整備
- ・相続・経営継承に関する取組
- ・多様な人材の育成・定着に向けた取組
- ・家族間の役割分担等（家族経営協定を締結している場合）

家族経営協定を締結している場合には、
①家族経営協定を締結していること
②協定に基づく家族間の役割分担
等の内容を記載して下さい

⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

例)

＜現状＞

- ・機械設備の老朽化。

＜目標・措置＞

- ・農業制度資金や補助金等を活用した機械設備の更新、新規導入。
（資金名：農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）、R**年度、500万円予定）
- ・機械の有効活用による作業受託の拡大。

先に記載した③生産方式の合理化、④経営管理の合理化及び⑤農業従事の態様の改善以外の取組等について、現状、目標及びその目標を達成するための具体的な方策を記載して下さい。（複数記載可）

農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合には、予定年度、予定する資金の名称、借入予定額等を記載して下さい。

農業経営基盤強化促進法第

12 条第 3 項に規定する措置を記載する場合。

（1）同法第

14 条第 1 項の規定による出資の特例を活用するため、関連事業者等から出資を受け

ることを記載する場合には、出資者の氏名又は名称、出資者ごとの出資額及び比率、出資者が

権利を有する経営農地が所在する市町村名を記載して下さい。

（2）（1）に加え、同法第 14 条第 2 項に規定する役員兼務の特例を活用するため、親会社の役員

を兼務させる場合には、当該親会社の名称、当該親会社が同法第 12 条に規定する認定を受け

た市町村等の名称、当該親会社が権利を有している経営農地が所在する市町村名、本特例の

対象とする兼務役員の氏名、当該兼務役員の親会社における農業従事日数及び子会社における農業従事日数を記載して下さい。

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあつては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあつて は役職)	現 状			見 通 し (R11年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	0人	見 通 し	1人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1人	見 通 し	3人
											延べ人数	現 状	10人	見 通 し	30人
芋畑 豊作	△	男	代表	総合	○	2,000	経営全体	○	1,800						
芋畑 里味	□	女	妻	補助 経理		1,200	補助 経理		1,000						
芋畑 富蔵	×	男	長男	収穫		2,000	収穫		1,800						

「臨時雇 (年間) 延べ人数」欄には、
臨時雇用の人数×日数を記載して下さい。
(例) 3人を10日間臨時雇用した場合
3人×10日＝30人

現在は農業経営に携わっているが5年以内に離職する見込みの者及び現在は
就農していないが5年以内に経営に参画する見込みの者についても記載して
下さい。
代表者以外の氏名に関しては以下を参考に記載し、従たる従事者には○を記
載して下さい。
(家族経営の場合)
・ 農業経営に携わる者の氏名、代表者を基準とした続柄
(法人の場合)
・ 役員の氏名、役職

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画	
農業用機械等の名称	数量
キュアリング倉庫	1
トラクター(65馬力)	1
ポテカルゴ(掘り取り機)	1
農業機械保管倉庫	1
ビニールハウス(苗床用)	2
乾燥機(干し芋用)	1
ボイラー(干し芋用)	1
シール機	1
加工施設(干し芋用)	1
セーフティローダー	1
軽トラック	1
動力噴霧器(防除用)	1
トラクター(23馬力)	1
運搬用フォークリフト	1
梱包機(干し芋用)	1

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。
 (②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

今後取得する予定の農業用機械、装置、器具、建物などを記入してください。(複数記載可)

※現在すでに使用中の農業用機械(「②(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているもの)は記載不要です。